

SDGsエコポスターコンクール2025 入賞作品



座間市長賞

#救おう地球

相模中学校2年
志村 瑛多 さん

気候変動は、私達の未来に大きな影響を与える重要な課題です。近年の日本は毎年記録を更新する異常な暑さで地球の温暖化や自然環境の悪化など、もはや待ったなし！の状況です。
「#(ハッシュタグ)救おう地球」をスローガンに発信することで、沢山の人々に地球環境について多くの気づきや行動を促すキッカケになれば良いなという想いを作品に込めました。



イオンモール座間賞

「都会」と「田舎」の共存

西中学校1年 平野 雄大 さん

環境を考えた街作りを意識しました。
多くの自然が残る部分と人口の集まる都市部がありながら生活
できる街です。
過疎でもエネルギーがまかなえる太陽光パネル・風力発電を描
きました。

座間市教育長賞

どうしたら良いか
わからなくてクマる

中原小学校5年
佐野 幹太 さん



ホッキョクグマは氷の上からえ物の動物をねらいますが、地球温暖化で氷が少なくなると、かりのできる期間が短くなり、食べる物が少なくなってしまうです。
また、海水がへってしまうと、え物求めて長い日数をかけて泳いで移動しなければならないので体力が落ち出産する子どもの数がへったり、泳いでいる間におぼれてしまう子ぐまがふえたりします。この現状を知ってくま達をすくいたいと思いました。
そのためにもCO2をふやさない努力をしたいと思います。



小田急電鉄賞

冷蔵庫チェック

入谷小学校5年 吉田 絢信 さん

家の冷蔵庫は物が多くて捨てる物が多かったからフードロスをなくしていきたいと思います。
またおばあちゃんも安くてたくさん買いすぎてしまうくせがあります。
なのでぼくから注意していきたいと思います。

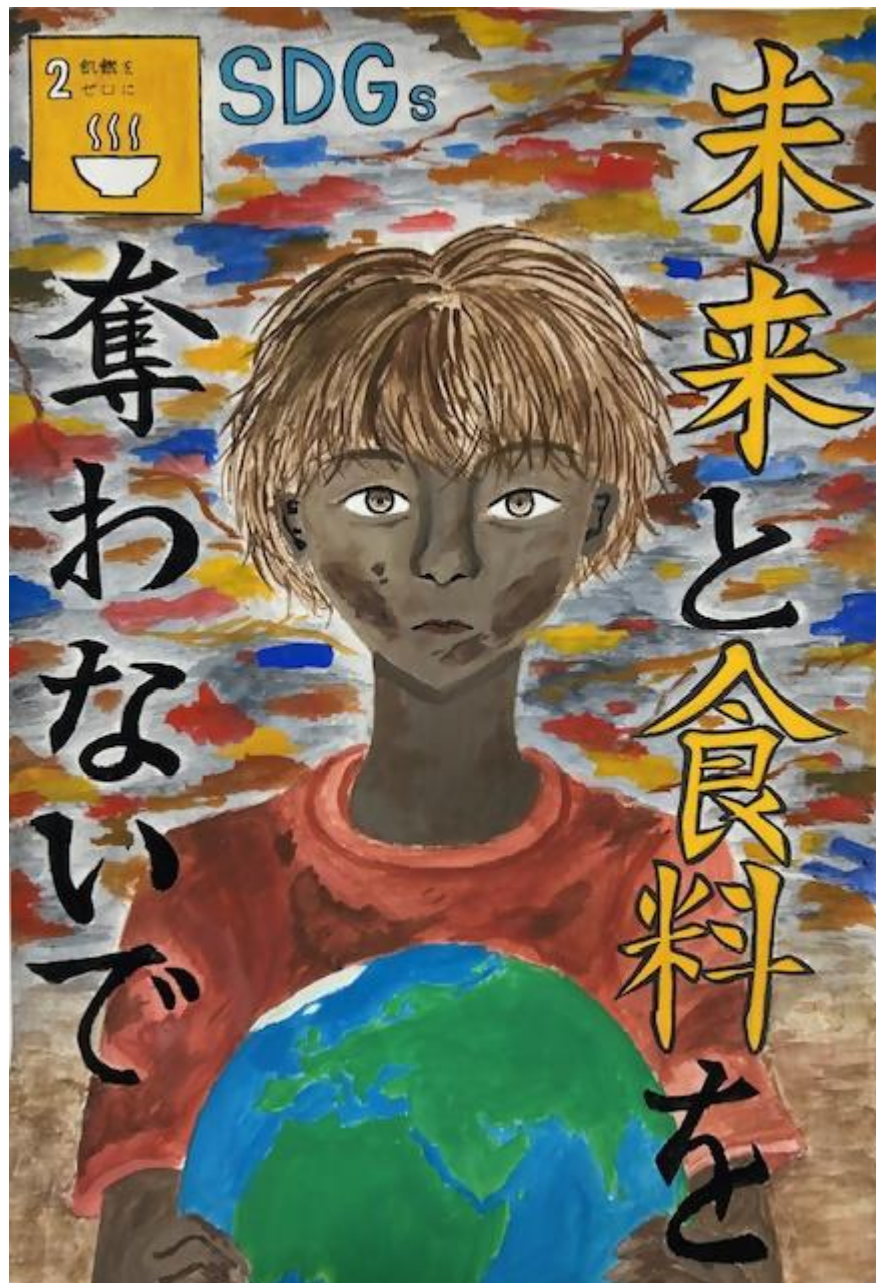
ざまりん賞

未来と食料を奪わないで

相模中学校3年 市村 愛 さん

私たちにとってご飯は毎日欠かさず食べる身近なものです。しかし、世界では7億5700万人もの人々が、今も食料不足に苦しめられています。生まれた場所が違うだけで、十分なご飯もなく、病に冒され、命を落としていく子供たちは、後を絶ちません。私はこの作品で、男の子の「目」に力を入れました。ゴミの山の前で、泥だらけの痩せ細った姿でこちらを見つめる彼は、何かを訴えかけてくるような瞳をしています。

このポスターをきっかけに、今、この瞬間でも地球のどこかで飢餓に苦しむ人がいること、未来を失われつつある子供がいることを、“世界共通の課題”として受けとめて。

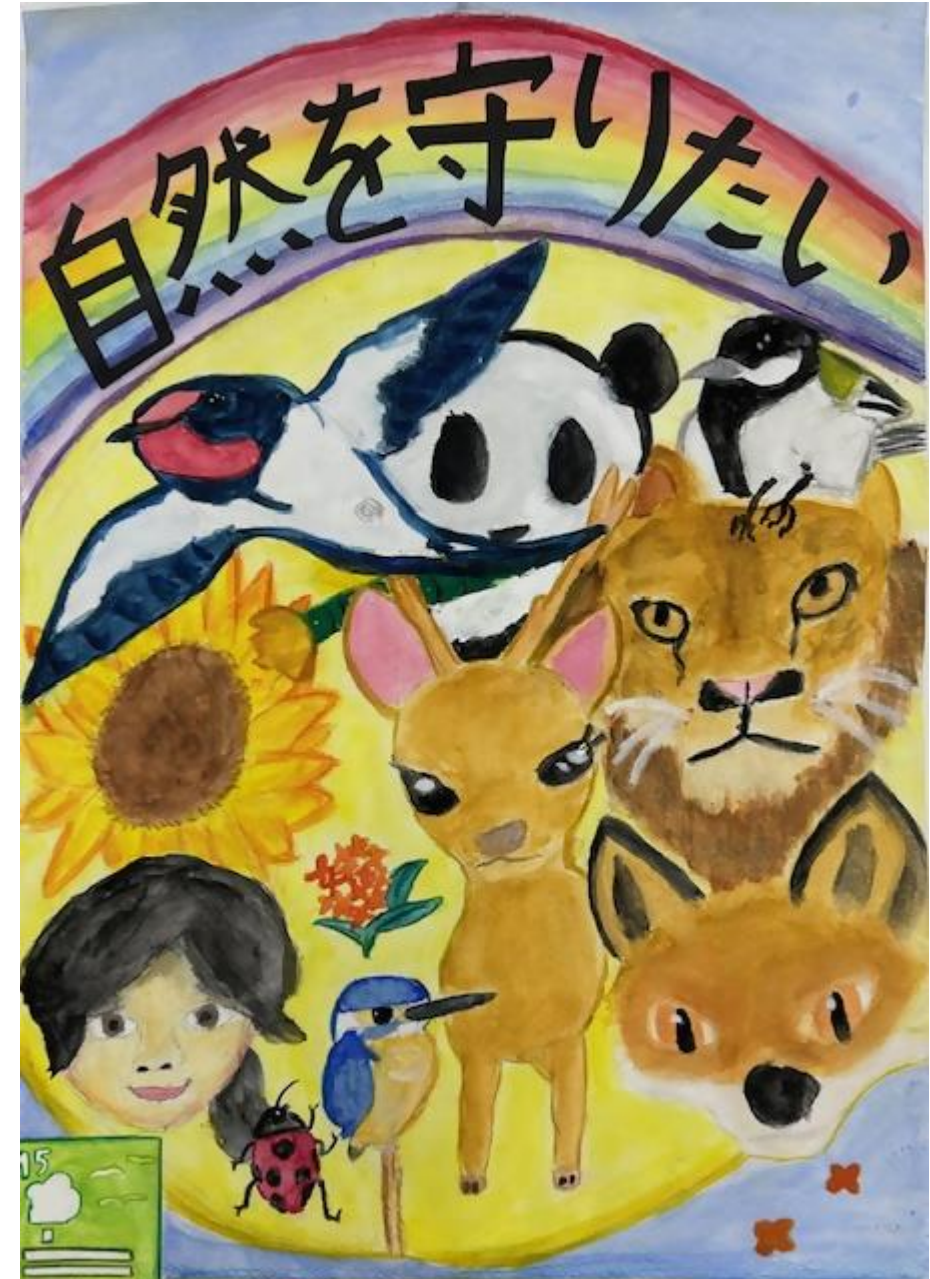


優秀賞

自然を守りたい

入谷小学校5年 鈴木 美琴羽 さん

陸の豊かさを守ろうをテーマに書きました。
みんな共に生きている！そして前を向いて取り組もう！という想いを表現しています。森林や生態系の破壊など私たちはしっかり前を向いてこの課題を解決しなければならないと思うからです。
またポイントは、座間市のヒマワリ、シジュウカラ、キンモクセイを入れました。まず自分に取り組むべきという想いからです。
座間市から色々な街に、この想いが届くように、渡り鳥のツバメが飛び立っています。
この絵の日本画の画材、水干絵具を使用して描きました。水干絵具(すいひえのぐ)は、天然の土または粉や白土に染め付けた微粒子の日本画絵具です。
今ある日本の良さを残しつつ、私たちは未来に向けて考えていければと思います。
陸の豊かさを守るために、たくさんの想いがあふれる作品にしました。空に素敵な虹がかかり、いつまでも平和でありたいと願います。





優秀賞

出さない！！プラスチック

中原小学校5年
佐々木 陽歩 さん

総合のじゅ業でSDGsの事を勉強して海にたくさんのゴミやプラスチックが流れゴミがたくさんついて死んでしまってるクジラの写真がありかなしい気持ちになりました。
そのことをたくさん知ってもらいたい、大切なクジラの命を助けたいそんな気持ちでかきました。クジラの命の大切さをにじ色で表現してみました。
こまかいところをぬるのが大変でしたがふでの先をつかってがんばりました。

優秀賞

生命のみなもと

東原小学校6年 吉金 咲月 さん

私は陸の中で主に森に着目し、森は空気をきれいにするだけでなく、動物の住みかにもなっている。
人間にも動物にも必要なものを人間が減らしているという現状を、人間が増やしていく未来にかえていきたいという思いを込めている。

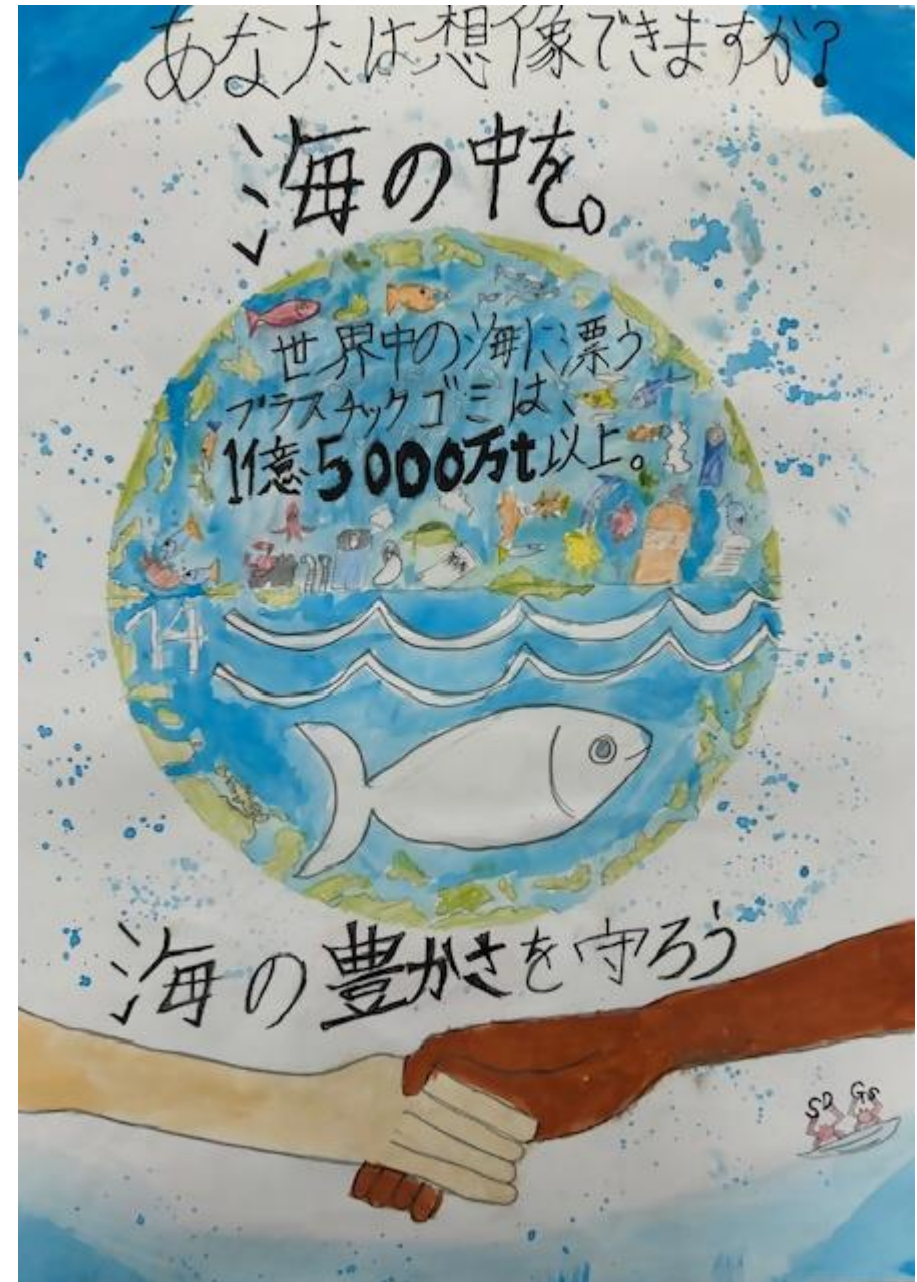


優秀賞

あなたは想像できますか？
海の中を。

栗原小学校6年 山本 琉希 さん

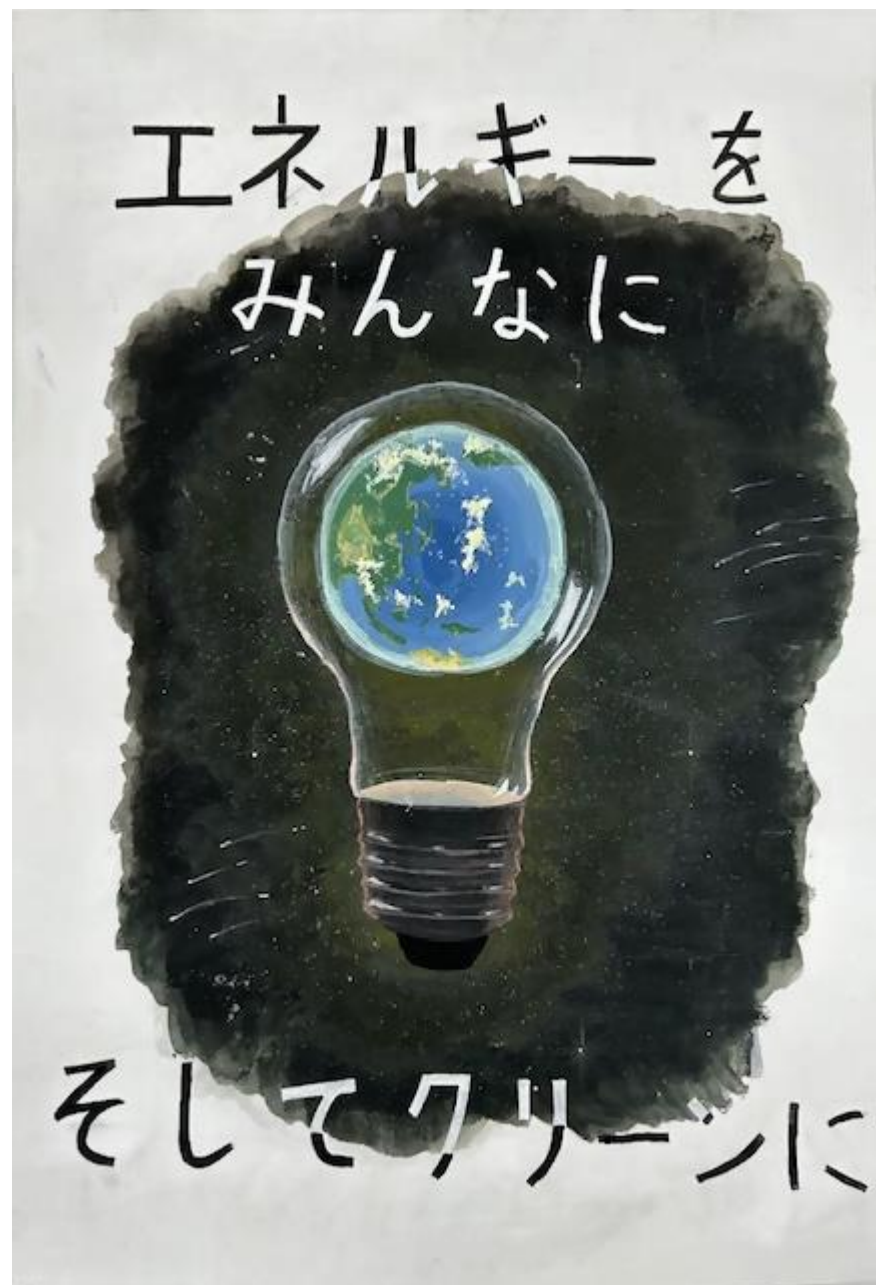
- ①現在は、海洋ゴミなどが毎年増えています。
- ②この作品への思いは、海洋ゴミを減らし、魚たちが誤ってゴミを飲み込み減少しているので、海の豊かさを守りたい、一人一人が協力することです。



優秀賞

私たちが世界中にエネルギーを
東中学校2年 高嶋 柚希 さん

現状ではエネルギーがなく電気が使えない人たちがいます。電気がないと病院が機能しない。食料が保管できないなど命にかかわる問題が発生してしまいます。このような人たちに電気を供給するには私たちが電気の使い方を見直す必要があります。エネルギーをもっと作ればいいと思っているかもしれませんが発電をする際多くの割合で石炭、石油など大気汚染につながるものが使用されています。環境によい再生可能エネルギーも発電コスト、発電量の不安定さなど課題となっている部分も多くあります。だから私たちは電気の使い方を見直す必要があります。使っていないプラグをさしっぱなしにしない。明るい時に電気をつけないなど小さなことでもエネルギーの消費量は減らせます。このような取り組みをし何年後かには世界中にエネルギーがいきわたり、安全に使えるようになってほしいと思い世界中の人の生活が明るく照らされきれいに輝いているような作品を描きました。



優秀賞

切り開いた先の未来には

相模中学校3年
大高 実祈 さん



自分たちが思っている未来ではきれいな自然がまっているのか、それとも、予測されている未来になってしまうのか。そうならないようにするためにはどうすればよいのか。

優秀賞

この現実を受けとめられるか。

相模中学校3年 八板 彩恵 さん

何故魚がゴミを食べて亡くなってしまうのか、何故海にゴミがあるのかという疑問を持ちながら絵を描きました。

